

# すなお

令和4年9月号

## おやのことば

これまで危ない処、どう  
なりこうなり連れて通りや  
こそ、通れる。時節で通  
れるのやない。時節で通  
れると思うは、心が間違  
うてあるのやで。

明治三十年六月三日



今月九日に診察を受け、順調に回復している上  
で日常生活への復帰の許可が出て、四ヶ月ぶりの  
運転をさせていただきました。遊びに行っている  
訳ではないのに、とても嬉しい瞬間でした。以前  
なら当たり前と思っていたことが本当にありがた  
いことでした。一足飛びには行きませんが、徐々  
に動きを増やしていき皆様の所へも伺える日を楽  
しみにしています。

そして今月五、六日の両日に造園業者の方が来  
られ、教会のJR側の雑木一切を伐採してくれま  
した。今までは出来る範囲で教会として出来る整  
備をしてきましたが、到底出来ない状況になりJR  
担当者と協議の上で作業をしていただき、五十  
年前に移転建築した時のような姿になりました。

見晴らしが良くなり、参拝場も明るくなりました。  
た。外からの景観もずいぶん変わったように思っ  
ます。今までは木々の陰に隠れていて、それはそ  
れで良かったのですが、今回の時期に綺麗さっぱ  
り取り払うことになったのも神様の恩恵と悟り  
たいと思います。(次ページへ)

会長

## すなお (立教185年9月号)

通 巻 No.746  
発行所 天理教瀬戸路分教会  
794-0007 今治市近見町4-5-10  
☎ 0898-23-5004  
FAX 0898-23-5123  
発行日 2022.9.16  
責任者 二宮英治

まだ30～40代で、若い娘さんもいて、夫婦仲も良かったと聞いていたため私  
たちもその訃報にはかなりショックでした。

改めてくも膜下出血について調べると、発症すると50%の確率で死に至り、も  
し命を取りとめても多くの場合に後遺症が残る本当に怖い病気でした。瀬戸  
路の信者さんの中で奇跡的に回復された方を知っていたので、どこかできっ  
と大丈夫だろうと、私は今までこの病気の怖さを実感できていなかったのだ  
と思います。

大きな事故や急な病気はいつどこで起きるかもわかりません。自分が、大  
事な人が、明日そうになってしまうかもしれません。もしもの時を考えると怖  
くて泣きそうになりますが、今は毎朝目が覚める度にほっとすると同時に  
神様ありがとうございますと思うようになりました。私たちは守っていただ  
かなければ明日の我が身も分かりません。日々の心づかいを直す出来事と捉  
え、神様に守っていただける道を通らせていただきたいと思います。

## 教会ニュース

### 訃報

9月5日ようぼくである竹中誠さん（享年79歳）出直しされ、現在  
の状況から身近な家族のみで見送りをされました。修養科修了後は、  
月々の月次祭には変わらずつとめて下さいました。

### 教会車輛御供報告

8月30日現在で926,000円の御供をいただいています。月々の真実を  
ありがとうございます。

### 編集後記

最近、会社の業務の関係で資格試験を受験しました。受験勉強はしていた  
ものの、いざ問題を前にすると勉強していた以外の所が出ていたりして中々  
難しかったです。結果は2週間後位に出ます。合格していれば良いですが。  
不合格だった場合は来年もチャレンジします。

2週間程前ですが、基礎疾患があるため4回目のコロナワクチンを接種し  
ました。当日は何もなかったのですが、翌日38.1℃の熱と腕の痛みがでまし  
た。たまたま土曜日の接種だったので、日曜日はゆっくり休みました。少し  
ずつ落ち着いてはきているものの、もう少しお付き合いが必要そうです。

（編集者K）

今はまだコロナにしてもウクライ  
ナの戦争にしてもさまざま、心に雲  
がかかったようで晴々といった感じ  
ではないと思います。しかし、それ  
は外のことであつて内なる自分の心  
まで雲をかける必要はありません。  
冒頭で述べたように運転出来ること  
だけでも嬉しいと感じれば嬉しいこ  
とですし、身体を健康に使わせてい  
ただけているなら尚ありがたいこと  
なのです。ついつい目に見える形に  
振り回されてしまうお互いですが、  
こんな時だからこそ信者であるお  
互いが陽気に明るく日々を暮らして  
いきたいものです。それが大きなに  
おかげになり、人たすける姿です。  
よろしく願います。



## 破天荒な生き様

二宮 鈴代

長年、心に温めていた（老後はおちばでゆっくり過ごしたい。）そんな思い  
を抱いていたのですが、そうではなく長年お連れいただき数々の御守護をいた  
だいてきた御恩に感謝し、まだまだほこり一杯の心のお掃除をさせていただく  
ためにも、ひのきしんに励ませていただきたいと修養科入学を決めさせていた  
だきました。

今期、大洋輝の会長さんが教養掛を務めて下さるこの旬に！と思い定めまし  
た。”82歳”の高齢で修養科のハッピー姿もまた楽しいでしょう。破天荒な鈴代  
の生き様です。



## 守っていただける道を

椿 信代

職場の先輩に小学生の娘がいるママさんがいます。ほんの二週間前、その人  
の旦那さんが急死されました。死因はくも膜下出血でした。聞くところによ  
ると「おやすみ」と言って夜に布団に入った後、朝起きるともう意識がなかった  
そうです。緊急搬送された病院でも手を尽くされましたが、回復の見込みなし  
と判断されそのまま治療が続けられることはありませんでした。（次ページへ）